

2021年10月12日

内閣総理大臣 岸田文雄 殿

徳島大学教職員労働組合
中央執行委員長 今井晋哉

日本学術会議会員への任命を拒否された6名につき 速やかに任命することを求めます

新聞各社の報道によりますと、松野博一官房長官は10月7日の記者会見で、日本学術会議が昨年8月に推薦した会員候補6人を、岸田内閣として新たに任命する考えはないとの認識を示したとのこと。この件につき抗議し、6名を速やかに任命することを求めます。

学術研究において批判は本質的であり、既存の立場や学説を批判することで学問研究は進歩します。政府の方針に賛同する研究ばかりの学術界では、学問研究の深化はありません。また、「日本の学術界は政府の意向に沿った研究ばかりしている」と諸外国から見られれば、領土問題、温暖化問題、感染症防止対策その他の社会的、科学的問題についての日本政府の主張には客観的根拠が乏しく説得力がないと見なされかねません。そうなれば日本の国益にとって大きな損失です。学術界の政府からの独立性は、短期的には政府の政策に反対するなど「権力者にとって目障り」であっても、長期的に見れば政府主張の客観性を担保するうえでも不可欠の要素です。

貴職におかれましては、常々「特技は人の話をよく聞くこと」とおっしゃっております。また、自民党総裁選挙出馬にあたり、「自民党が国民の声を聞き幅広い選択肢を持つ政党であることを示し、もってこの国の民主主義を守るために」と表明されています。学術会議任命拒否事件は、まさしく従来の強権的・非民主的な政治の一つの象徴であり、真っ先に見直すべき案件に他なりません。

以上の点に鑑み、菅義偉前首相が任命を拒否した6名を速やかに任命することを求めます。よろしく賢明な判断をお願いいたします。